コード番号	重点研究分野	研究区分
501	エネルギー	化石燃料・加工燃料
502	エネルギー	原子力エネルギー
503	エネルギー	自然エネルギー
504	エネルギー	省エネルギー・エネルギー利用技術
505	エネルギー	環境に対する負荷の軽減
506	エネルギー	国際社会への協力と貢献
589	エネルギー	共通基礎研究
599	エネルギー	その他
601	ものづくり	高精度技術
602	ものづくり	精密部品加工
603	ものづくり	高付加価値極限技術(マイクロマシン等)
604	ものづくり	環境負荷最小化
605	ものづくり	品質管理・製造現場安全確保
606	ものづくり	先進的ものづくり
607	ものづくり	医療・福祉機器
608	ものづくり	アセンブリープロセス
609	ものづくり	システム
689	ものづくり	共通基礎研究
699	ものづくり	その他
701	社会基盤	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術
702	社会基盤	災害被害最小化応用技術研究
703	社会基盤	超高度防災支援システム
704	社会基盤	事故対策技術
705	社会基盤	社会基盤の劣化対策
706	社会基盤	有害危険･危惧物質等安全対策
721	社会基盤	自然と共生した美しい生活空間の再構築
722	社会基盤	広域地域研究
723	社会基盤	水循環系健全化・総合水管理
724	社会基盤	新しい人と物の流れに対応する交通システム
725	社会基盤	バリアフリー
726	社会基盤	ユニバーサルデザイン化
789	社会基盤	共通基礎研究
799	社会基盤	その他
801	フロンティア	宇宙科学（天文を含む）
802	フロンティア	宇宙開発利用
821	フロンティア	海洋科学
822	フロンティア	海洋開発
889	フロンティア	共通基礎研究
899	フロンティア	その他
900	人文・社会	
1000	自然科学一般	

注　研究区分番号２０８の入出力とは、情報通信システムの入出力を容易にする技術をいう。ただし、研究区分番号２０９から２１１までに該当するものを除く。

別表第２
研究キーワード候補リスト

コード番号	研究キーワード
1	遺伝子
2	ゲノム
3	蛋白質
4	糖
5	脂質
6	核酸
7	細胞・組織
8	生体分子
9	生体機能利用
10	発生・分化
11	脳・神経
12	動物
13	植物
14	微生物
15	ウィルス
16	行動学
17	進化
18	情報工学
19	プロテオーム
20	トランスレーショナルリサーチ
21	移植・再生医療
22	医療・福祉
23	再生医学
24	食品
25	農林水産物
26	組換え食品
27	バイオテクノロジー
28	認知症
29	癌
30	糖尿病
31	循環器・高血圧
32	アレルギー・ぜんそく
33	感染症
34	脳神経疾患
35	老化
36	薬剤反応性
37	バイオ関連機器
38	フォトニックネットワーク
39	先端的通信
40	有線アクセス
41	インターネット高度化
42	移動体通信
43	衛星利用ネットワーク

コード番号	研究キーワード
44	暗号・認証等
45	セキュア・ネットワーク
46	高信頼性ネットワーク
47	著作権・コンテンツ保護
48	ハイパフォーマンス・コンピューティング
49	ディペンダブル・コンピューティング
50	アルゴリズム
51	モデル化
52	可視化
53	解析・評価
54	記憶方式
55	データストレージ
56	大規模ファイルシステム
57	マルチモーダルインターフェース
58	画像・文章・音声等認識
59	多言語処理
60	自動タブ付け
61	バーチャルリアリティ
62	エージェント
63	スマートセンサ情報システム
64	ソフトウエア開発効率化・安定化
65	ディレクトリ・情報検索
66	コンテンツ・アーカイブ
67	システムオンチップ
68	デバイス設計・製造プロセス
69	高密度実装
70	先端機能デバイス
71	低消費電力・高エネルギー密度
72	ディスプレイ
73	リモートセンシング
74	モニタリング(リモートセンシング以外)
75	大気現象
76	気候変動
77	水圏現象
78	土壌圏現象
79	生物圏現象
80	環境質定量化・予測
81	環境変動
82	有害化学物質
83	廃棄物処理
84	廃棄物再資源化
85	大気汚染防止・浄化
86	水質汚濁・土壌汚染防止・浄化
87	環境分析
88	公害防止・対策
89	生態系修復・整備
90	環境調和型農林水産
91	環境調和型都市基盤整備・建築
92	自然共生
93	政策研究
94	磁気記録

コード番号	研究キーワード
95	半導体超微細化
96	超高速情報処理
97	原子分子処理
98	走査プローブ顕微鏡(STM、AFM、STS、SNOM、他)
99	量子ドット
100	量子細線
101	量子井戸
102	超格子
103	分子機械
104	ナノマシン
105	トンネル現象
106	量子コンピュータ
107	DNAコンピュータ
108	スピンエレクトロニクス
109	強相関エレクトロニクス
110	ナノチューブ・フラーレン
111	量子閉じ込め
112	自己組織化
113	分子認識
114	少数電子素子
115	高性能レーザー
116	超伝導材料・素子
117	高効率太陽光発電材料・素子
118	量子ビーム
119	光スイッチ
120	フォトニック結晶
121	微小共振器
122	テラヘルツ/赤外材料・素子
123	ナノコンタクト
124	超分子化学
125	MBE、エピタキシャル
126	１分子計測 (SMD)
127	光ピンセット
128	(分子) モーター
129	酵素反応
130	共焦点顕微鏡
131	電子顕微鏡
132	超薄膜
133	エネルギー全般
134	再生可能エネルギー
135	原子力エネルギー
136	太陽電池
137	太陽光発電
138	風力
139	地熱
140	廃熱利用
141	コージェネレーション
142	メタンハイドレート
143	バイオマス
144	天然ガス
145	省エネルギー

コード番号	研究キーワード
146	新エネルギー
147	エネルギー効率化
148	二酸化炭素排出削減
149	地球温暖化ガス排出削減
150	燃料電池
151	水素
152	電気自動車
153	LNG車
154	ハイブリッド車
155	超精密計測
156	光源技術
157	精密研磨
158	プラズマ加工
159	マイクロマシン
160	精密部品加工
161	高速プロトタイピング
162	超精密金型転写
163	射出成型
164	高速組立成型
165	高速伝送回路設計
166	微細接続
168	ヒューマンセンタード生産
169	複数企業共同生産システム
170	品質管理システム
171	低エントロピー化指向製造システム
172	地球変動予測
173	地震
174	火山
175	津波
176	土砂災害
177	集中豪雨
178	高潮
179	洪水
180	火災
181	自然災害
182	自然現象観測・予測
183	耐震
184	制震
185	免震
186	防災
187	防災ロボット
188	減災
189	復旧・復興
190	救命
191	消防
192	海上安全
193	非常時通信
194	危機管理
195	リアルタイムマネージメント
196	国土開発
197	国土整備

コード番号	研究キーワード
198	国土保全
199	広域地域
200	生活空間
201	都市整備
202	過密都市
203	水資源
204	水循環
205	流域圏
206	水管理
207	淡水製造
208	渇水
209	延命化
210	長寿命化
211	コスト縮減
212	環境対応
213	建設機械
214	建設マネージメント
215	国際協力
216	国際貢献
217	地理情報システム（GIS）
218	交通事故
219	物流
220	次世代交通システム
221	高度道路交通システム（ITS）
222	走行支援道路システム（AHS）
223	交通需要マネージメント
224	バリアフリー
225	ユニバーサルデザイン
226	輸送機器
227	電子航法
228	管制
229	ロケット
230	人工衛星
231	再使用型輸送系
232	宇宙インフラ
233	宇宙環境利用
234	衛星通信・放送
235	衛星測位
236	国際宇宙ステーション（ISS）
237	地球観測
238	惑星探査
239	天文
240	宇宙科学
241	上空利用
242	海洋科学
243	海洋開発
244	海洋微生物
245	海洋探査
246	海洋利用
247	海洋保全
248	海洋資源

コード番号	研究キーワード
249	深海環境
250	海洋生態
251	大陸棚
252	極地
253	哲学
254	心理学
255	社会学
256	教育学
257	文化人類学
258	史学
259	文学
260	法学
261	経済学

（記入例）

様式Ａ（１）　当該事業年度　公募要項Ⅲ．照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名

平成　２１　年度厚生労働科学研究費補助金（　○○○○　研究事業）研究計画書（新規申請用）

平成２０年○○月○○日

厚生労働大臣　　殿

一部の研究事業については、提出先が別に示されているので注意すること。

住　　所　〒100-0000　東京都○○区幸町100
フリガナ　ヤマダ　タロウ　自署又は記名押印
申請者　氏　　名　山田　　太郎　　印
生年月日　１９５０年　１月　１日生

当該研究事業年度　公募要項Ⅲ．照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名

平成　２１　度厚生労働科学研究費補助金（○○○○○○○○○○○研究事業）を実施したいので

次のとおり研究計画書を提出する。

公募要項Ⅴ．の公募研究課題に付された公募課題番号

研究の目的と成果がわかる課題名とすること。

１．研究課題名（公募番号）　：　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（１０１１０１０１）

平成２１年度中に研究事業を遂行するために必要な経費（要望額）

２．当該年度の計画経費　：金　６０，０００，０００　円也（間接経費は含まない）

当該年度の実際に研究を開始する日から当該年度の実際に研究が終了する日を記入すること。

３．当該年度の研究事業予定期間　：平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日

（３）年計画の１年目　複数年度にわたる研究の場合に記入すること。なお、その期間は原則として３年を限度とする。

４．申請者及び経理事務担当者

申　請　者	①所属研究機関	国立厚生労働センター		
	②所　属　部　局	疾病研究部		
	③職　　名	疾病研究部長		
	④所属研究機関 所　在　地 連　絡　先	〒100－0000　東京都○○区幸町200 Tel:03-3333-1111　　Fax:03-3333-3333 E-Mail:　yamada@abcd.go.jp		
	⑤最終卒業校	霞ヶ関大学医学部	⑥学　　位	医学博士
	⑦卒　業　年　次	昭和４８年	⑧専攻科目	感染症内科
経理事務担当者	（フリガナ） ⑨氏　　名	タナカ　ハナコ 田中　　花子	経理事務に卓越した者を所属機関の長が指名すること。	
	⑩連絡先・所属部局・課名	〒100-0000　東京都○○区幸町200 国立厚生労働センター会計課 Tel:03-3333-1111（内 200）　Fax:03-3333-3333 E-Mail:tanaka@abcd.go.jp		

書類提出時には、ページを付すこと。

（記入例）

⑪研究承諾の有無	有・無	⑫事務委任の有無	有・無	⑬COI（利益相反）委員会の有無	有・無
⑭COI委員会への申出の有無	有・無	⑮間接経費の要否	要（9,000千円、計画経費の15%）・否		

「2．当該年度の計画経費」が10,000千円以上の場合、間接経費を要望することができる。

5．研究組織情報

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属研究機関及び現在の専門（研究実施場所）	⑤所属研究機関における職名	⑥研究費配分予定額（千円）
山田　太郎	○○○研究(総括)	霞ヶ関大学医学部、昭和48年卒、医学博士、○○科	国立厚生労働センター、○○科（臨床研究部）	臨床研究部長	50,000
鈴木　花子	臨床研究協力体制の整備	丸の内大学医学部、昭和61年卒、医学博士、○○科	丸の内大学難病研究所、○○科	准教授	10,000

研究協力者の記入は必要ない。

配分予定額を記入、又は、「研究代表者一括計上」と記入のこと

6．政府研究開発データベース
研究者番号及びエフォート

研究者名	性別	生年月日	研究者番号（8桁）	エフォート（%）
山田　太郎	男	19500101	12300001	20%
鈴木　花子	女	19551005	23400002	15%

研究分野及び研究区分

	コード番号	重点研究分野	研究区分
研究主分野	101	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	ゲノム
研究副分野1	102	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	医療・医学
研究副分野2	104	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	脳科学
研究副分野3	105	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｧﾏﾃｨｸｽ

別表第1「重点研究分野コード表」より該当するものを選択し、コード番号、重点研究分野、研究区分を記入

研究キーワード

	コード番号	研究キーワード
研究キーワード1	1	遺伝子
研究キーワード2	2	ゲノム
研究キーワード3	6	核酸
研究キーワード4	7	細胞・組織
研究キーワード5		ｼｽﾃﾑ生物学

別表第2「研究キーワードリスト」より該当するものを選択し、コード番号、研究キーワードを記入

該当するものがない場合、30字以内で独自に記入

書類提出時には、ページを付すこと。

（記入例）

研究開発の性格

基礎研究		応用研究		開発研究	

基礎研究・応用研究・開発研究いずれに当たるかを記載。

7．研究の概要

（1）「8．研究の目的、必要性及び特色・独動的な点」から「11．倫理面への配慮」までの要旨を1，000字以内で簡潔に記入すること。
（2）複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
（3）研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

（流れ図）

8．研究の目的、必要性及び特色・独創的な点

（1）研究の目的、必要性及び特色・独創的な点については、適宜文献を引用しつつ、1，000字以内で具体的かつ明確に記入すること。
（2）当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画と、当該研究計画の関係を明確にすること。
（3）研究期間内に何をどこまで明らかにするかを明確にすること。
（4）当該研究の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

（記入例）

9．期待される成果

（1）期待される成果については、厚生労働行政の課題との関連性を中心に６００字以内で記入すること。 （2）当該研究によって直接得られる研究成果だけでなく、間接的に期待される社会的成果（行政及び社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）について記入すること。

１０．研究計画・方法

（1）研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を１，６００字以内で記入すること。 （2）研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確にすること。 （3）複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入すること。 （4）本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること。 （5）臨床・疫学研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法等を明確に記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

（記入例）

１１．倫理面への配慮

・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。

遵守すべき研究に関係する指針等
（研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。））。

□ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針　○ 疫学研究に関する倫理指針

□ 遺伝子治療臨床研究に関する指針　□ 臨床研究に関する倫理指針

□ ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針

該当する部分に○を付けること

□ 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針

□ その他の指針等（指針等の名称：　　）

疫学・生物統計学の専門家の関与の有無	有　・　無　・　その他（　　）
臨床研究登録予定の有無	有　・　無　・　その他（　　）

該当する項目を選択すること

（記入例）

１２．申請者の研究歴等

申請者の研究歴： 過去に所属した研究機関の履歴、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、主な研究課題、これまでの研究実績、受賞数、特許権等知的財産権の取得数、研究課題の実施を通じた政策提言数（寄与した指針又はガイドライン等））

発表業績等： 著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後のページ）、特許権等知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言(寄与した指針又はガイドライン等) （発表業績等には、研究代表者及び研究分担者ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去３年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。また、この研究に直接関連した論文・著書については、著者氏名の名前に「○」を付すこと。）

１３．厚生労働科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年　　度	外国人研究者招へい事業	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）
平成２１年度	名	名	名
平成２２年度	名	名	名
平成２３年度	名	名	名

平成２２年度及び平成２３年度は複数年度にあたる研究を行う場合に記入すること。（以下同様）

書類提出時には、ページを付すこと。

（記入例）

１４．研究に要する経費

（１）各年度別経費内訳　　（単位：千円）

年　　度	研究経費	内訳							
		謝　金	旅　費	備品費	消耗品費	借料及び損料	賃　金	その他	委託費
平成２１年度									
平成２２年度									
平成２３年度									
合　計									

（２）備品の内訳（５０万円以上の備品については、原則として賃借によること）

ア．借料及び損料によるもの（賃借による備品についてのみ記入すること）

年　　度	備　　品　　名	賃借の経費　(単位:千円)	数　量
平成２１年度	単価５０万円以上の備品でリース等の賃借契約を行う予定のあるものを記入すること。		
平成２２年度			
平成２３年度			

イ．備品費によるもの（５０万円以上の備品であって、賃借によらないもののみ記入すること。）

年　　度	備　　品　　名	単　　価　(単位:千円)	数　量
平成２１年度			
平成２２年度			
平成２３年度			

書類提出時には、ページを付すこと。

（記入例）

（３）委託費の内訳　　（単位：千円）

年　　度	委　託　内　容	委　託　先	委　託　費
平成　　年度			
平成　　年度			
平成　　年度			

１５．他の研究事業等への申請状況（当該年度）　　（単位：千円）

新規・継続	研究事業名	研　究　課　題　名	代表・分担等	補助要求額	所管省庁等	ｴﾌｫｰﾄ(%)
新規	○○研究費	○○に関する研究	代表	12,000	文部科学省	20%
		[redacted]				

１６．研究費補助を受けた過去の実績（過去３年間）　　（単位：千円）

年　　度	研　究　事　業　名	研　　究　　課　　題　　名	補　助　額	所管省庁等
	[redacted]			

１７．補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号）第１８条第１項の規定により補助金等の返還を命じられた過去の事業　　（単位：円）

年　　度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	返　還　理　由	所管省庁等
		[redacted]				

[redacted]